

福島県立博物館 令和 4 年度特別講座

詩人のいる博物館 文学とミュージアム②

文学館は建物ではない、出来事だ

1月29日(日)

13:30~15:30

福島県立博物館 講堂
& オンライン



講師：和合亮一さん（詩人）
萩原朔美さん（前橋文学館館長）

和合亮一 (Wago Ryouichi)

詩人。国語教師。中原中也賞、晩翠賞、福島県文学賞、NHK東北文化賞など受賞。震災後に福島から発信した詩をまとめた『詩の磔』がフランスにて詩集賞受賞（日本文壇史上初）。2019年には『QQQ』が萩原朔太郎賞受賞。福島県教育復興大使。福島大学応援大使。

萩原朔美 (Hagiwara Sakumi)

映像作家、エッセイスト。多摩美術大学名誉教授。金沢美術工芸大学客員教授。母は小説家萩原葉子、母方の祖父は萩原朔太郎。寺山修司主宰の演劇実験室「天井桟敷」で俳優・演出家を経て、月刊誌「ピクリハウス」初代編集長を務める。著書に『「演劇実験室・天井桟敷」の人々』（2000年）、『毎日が冒険』（2002年）、『死んだら何を書いてもいいわ』（2008年）、『劇的な人生こそ真実』（2010年）他多数。2016年4月より前橋文学館館長。2022年4月よりアーツ前橋アドバイザー。

※講座の様相を収録し、後日博物館公式 YouTube チャンネルで公開予定です。会場に撮影機材およびスタッフが入りますことをあらかじめご了承ください。

※新型コロナウイルスの感染拡大状況により予定が変更になる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。

※ご参加の際はマスクの着用にご協力ください。当日体調に不安がある場合は参加をご遠慮ください。

福島市在住の詩人・和合亮一さんをホスト役講師に開催する特別講座「詩人のいる博物館」。今年度もゲストをお招きし3回にわたって開催します。

今年度の2回目は、萩原朔太郎記念・水と緑のまち前橋文学館館長萩原朔美さんにお越し頂き、「文学館は建物ではない、出来事だ」と題してお送りします。

萩原朔美さんは、詩人・萩原朔太郎の孫で劇団「天井桟敷」の演出家、映像作家として多面的な活動を展開してこられました。

今回の講座では、2016年より館長を務めていらっしゃる、前橋文学館を舞台とした多彩な活動をご紹介します。ぜひご参加ください。

参加費：無料

①会場参加の方（定員 200 名、申込不要 先着順）

②オンライン参加の方（定員 100 名、令和 5 年 1 月 5 日から受付開始）

メール（general-museum@fcs.ed.jp 宛）にて、①事業名、②参加者氏名、③電話番号、④ZOOM 情報受け取りご希望 e-mail アドレスをお知らせの上、お申し込みください。申込受付締め切り：令和 5 年 1 月 29 日（日）12：00

【問い合わせ・申込】 福島県立博物館

〒965-0807 会津若松市城東町 1-25 電話番号: 0242-28-6000 <https://general-museum.fcs.ed.jp>